

2023年度 最終 全国有名国公私大模試 国語 採点基準

□ (評論) 採点基準 (合計≒50点)

問一 2点×4≒8点

(解答) a ハ b イ c ロ d ニ

問二 3点×2≒6点

(解答) X 二 Y ロ

問三 8点

(解答例)

A○1点

B○2点

C○2点

科挙制度の発達で、初学者のための書物が大量に出版され、外国人語である漢文の古典詩文が
D○1点 E○2点
日本人にとって 大いに学びやすいものになったから。(8点)

■各加点要素の加点の条件

A「科挙制度の発達で」(1点)

○「受験を前提とした」とした場合でも可○。

B「初学者のための書物が大量に出版され」(2点)

△「初学者のための」がない場合は、Bは△1点。

C「外国語である漢文の古典詩文が」(2点)

○「外国語である」は無くても可○。

△「漢文の古典詩文が」は、「漢文が」だけの場合は△1点。

D「日本人にとって」(1点)

○「漢字圏の人々にとって」も可○。

E 「大いに学びやすいものになったから」 (2点)

△ 「大いに」 のように強調された表現がない場合は、Eは△1点。

問四 4点

(解答) イ

問五 4点×2＝8点

(解答)

- ・ 西欧語の翻訳として文明を流通させる (17字) (4点)
- ・ 国家的伝統を宣揚する (10字) (4点)

※抜出問題のため、それぞれこれ以外は不可✖。

問六 8点

(解答例)

A ○2点

B ○2点

C ○2点

西洋語から翻訳した完全な新造語が 幅を利かせるようになったため、日本の固有の伝統にもとづいた

D ○2点

ことばを 発見しようとするということ。 (8点)

■各加点要素の加点の条件

A 「西洋語から翻訳した完全な新造語が」 (2点)

△ 「翻訳した」 を欠いている場合は減点1。

○ 「新造語」 は「新漢語」でも可○。

B 「幅を利かせるようになったため」 (2点)

○ この箇所を、傍線部Dの「内実を欠いた世界」の言い換えとして、「中身の薄い表面的なもののため」のようにした場合、2点を与える。

✖ Aがない場合、Bには得点を与えない✖。無得点。

C 「日本の固有の伝統にもとづいたことばを」 (2点)

○ 「日本の」が無くても可○。

D 「発見しよう」と渴望するところ」と「(2点)

- ▲ 「発見しよう」と「が無い場合は▲減点1点。
- 「渴望する」の意味内容となっていれば得点。
- △ 「発見しようとする」だけではDは△1点。

問七 4点×2＝8点

(解答) 口・へ

問一 2点×4≒8点

(解答) 1 譲渡 2 厄介 3 至高 4 土壌

問二 4点

(解答)

近代社会 (4点)

※**抜出問題のため、解答どおり。**

問三 9点

(模範解答例)

A〇3点

B〇3点

近代人が個人に内在する理性によって、自らの生き方を構築できるようになったため、
C〇3点

神の支配を必要としなくなったということ。(58字)(9点)

■形式上の不備

- ・文末表現…要素C参照/理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素C不可。
- ・句点の扱い…1点減点

■字数…六十字以内 **二十九字以下のものは全体不可(0点)**

■各加点要素の加点の条件

A「近代人が個人に内在する理性によって」(3点)

※「神」に代わるものとして、近代の個人々に内在する「理性」について説明していないものは、要素A加
点なし×0点。

▲比喩が一般化されておらず、そのまま書かれている答えは▲2点減点で△1点。

B「自らの生き方を構築できるようになったため」(3点)

※要素Aの「理性」によって、自らの生き方を構築できるようになったということの説明していないものは、要
素B加点なし×0点。

▲比喩が一般化されておらず、そのまま書かれている答えは▲2点減点で△1点。

C 「神の支配を必要としなくなったということ」(3点)

※要素AとBのことから、神の支配が必要なくなったということについて説明していないものは、要素C加点なし
 ✖0点。

▲比喩が一般化されておらず、そのまま書かれている答えは▲2点減点で△1点。

▲「神」が明示されていない場合、▲2点減点で△1点。

問四 6点

(模範解答例)

A ○3点

B ○3点

個々人が背負う理不尽なつらさに どう対処するかという問題。(28字) (6点)

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「〜から」になっている場合は、要素B不可。
- ・句点の扱い…1点減点

■字数…三十字以内 十四字以下のものは全体不可(0点)

■各加点要素の加点の条件

A 「個々人が背負う理不尽なつらさに」(3点)

✖近代人が抱く理不尽なつらさについて説明していないものは要素A加点なし。

B 「どう対処するかという問題」(3点)

- ✖要素Aに対しての対応であることについて説明していないものは要素B加点なし
- 「対処の仕方」は「打ち消し方」・「解決のしかた」でも可○。

問五 6点

(模範解答例)

A ○3点 B ○3点

国民全体で 広く共有する点。(13字) (6点)

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／内容説明の結び「〜こと」になっている場合は、要素B不可0点。
理由説明の結び「〜から」は可。
- ・句点の扱い…1点減点

■字数…十五字以内 七字以下のものは全体不可(0点)

■各加点要素の加点の条件

A 「国民全体で」(3点)

※国民全体であることを説明していないものは要素A加点なし。

B 「広く共有する点」(3点)

※要素Aが、「共有」されているということを説明していないものは要素B加点なし

○「共有」は「同化」でも可。

▲「大きな物語」が共有されていること具体例を具体のまま挙げている場合、▲2点減点で△1点

問六 5点

(解答) イ (5点)

問七 12点

(模範解答例)

A ○3点

B ○3点

近代産業資本主義では、成員の不規則な行動が続くと社会の崩壊を招く恐れがあるため、

C ○3点

近代人は自らの意志にかかわらず合理的システムである「鉄の檻」に入って、

D ○3点

規格化された行動をしなければならないから。 (96字) (12点)

■形式上の不備

・文末表現…要素D参照／内容説明の結び「〜こと」になっている場合は、要素D不可。

・句点の扱い…1点減点

■字数：一〇〇字以内 **四九字以下のものは全体不可(0点)**

■各加点要素の加点の条件

※各要素同意表現可。

A 「近代産業資本主義では」(3点)

※近代産業資本主義における状況であることを説明していないものは要素A加点なし ✕0点。

○「近代産業資本主義」は「近代産業社会」でも可○。

B 「成員の不規則な行動が続くと社会の崩壊を招く恐れがあるため」(3点)

※要素Aは、成員と社会全体の関係が密接であり、成員の不規則な行動が社会の崩壊につながるということを説明していないものは要素B加点なし ✕0点。

C 「近代人は自らの意志にかかわらず合理的システムである「鉄の檻」に入って」(3点)

※要素AとBのことから、成員は好むと好まざるとにかかわらず、自ら「鉄の檻」(「鉄の檻」が比喩であるのでそのまま指摘)に入るということを説明していないものは要素C加点なし※0点。

△「鉄の檻」が「合理システム」であることに触れていない場合▲2点減点で△1点。

○「自らの意志に関わらず」は、本文通り「好むと好まざるとにかかわらず」でもよい。

▲「自らの意志に関わらず」の要素ヌケは▲1点減点。

D 「規格化された行動をしなければならぬから」(3点)

※要素Cにおいて、規格化された行動をしなければならぬということの説明していないものは要素D加点なし

※0点。

△「規格化」という語を使わず、「自らを律しなければならぬから」の場合は、▲2点減点で△1点。

〔三〕(古文) 採点基準(合計50点)

問一 1点×3＝3点

(解答) a を b おほ c おぼ

〔ポイント〕

※ひらがな・**歴史的仮名遣い**でなくてはならない。

※正解以外はすべて✖。

※句読点は不要(不問)。

問二 2点×3＝6点

(解答) X へ Y ハ Z ホ

問三 1点×3＝3点

(解答) ①・⑤・⑥

〔ポイント〕

※順不同可。

※4つ以上選んでいる場合、全体✖。

問四 3点×3＝9点

(解答) 甲 口 乙 二 丙 八

B (解答例) 3点

A ○1点

B ○2点

どうしてそれほどまでに お悩みになる必要があるでしょうか。 (3点)

「ポイント」

○句読点の有無は不問。

A 「どうしてそれほどまでに」(1点)

※「なじかは、さまでに」の現代語訳

○「どうして」は「なぜ」などでもよい○。

○「それほどまでに」は「それほど」「そんなに」などでもよい

B 「お悩みになる必要がありますか」(2点)

※「煩ひ給ふべき」の現代語訳

○「悩む」は「苦しむ」「困る」などでもよい○。

※この意がない場合は×。

▲**尊敬**の意「おゝになる・ゝなさる」がない場合は▲減点1点。

▲「べし」の訳として「必要・べき」(当然)、**推量**「〜だろう・〜でしょう」の**いずれもない場合は▲減点1点。**

○模範解答では「必要・ましょう」と、当然と推量の両方を訳しているが、どちらか一つがあればよしとする。

E (解答例) 3点

A ○2点 B ○1点

少しも 物を言うことがない。 (3点)

「ポイント」

○句読点の有無は不問。

A 「少しも」(2点)

※「つゆ」の現代語訳

○「まったく・決して・全然」など全否定になっていればよい。

B 「物を言うことがない」(1点)

※「物言ふ事なし」の現代語訳

○「物を言わない」の意があればよい。

※「物を」がない場合は不可※。

F (解答例) 3点

A ○ 3点

命を絶つてしまったとかいう人 (3点)

「ポイント」

○ 句読点の有無は不問。

A 「命を絶つてしまったとかいう人」 (3点)

※ 「身をいたづらになし果てけん人」の現代語訳

○ 「命を絶つ」は「死ぬ」の意があればよい。

✖ この意がない場合は✖。

▲ 「てしまつ」(「果て」の訳)がない場合は▲減点1点。

○ 「たとかいう」(「けん」の訳)は「たような」でもよい。

▲ これがない場合は減点1点。

▲ 「人」がない場合は▲減点1点。

(解答例)

A ○2点 B ○1点

C ○1点

D ○1点

女房の、髪が鬼のようにけば立ち、上品だった顔が青や黄に変色し、足も血の気が失せて、

E ○2点 F ○1点 (E)

見苦しく汚く、着物も臭く、堪えがたい様子。 (49字) (8点)

■ 表記・字数

- ・ 字数制限なし
- ・ 文末表現指定なし。模範解答に準ずる。
- ・ 句読点の有無不問。

「ポイント」

A 「女房の」(2点)

○ 「女の」でもよしとする。

B 「髪が鬼のようにけば立ち」(1点)

○ 「髪(毛) がぼうぼうで・髪が乱れ・髪が鬼のよう」などの意が読み取ればよい。

C 「上品だった顔が青や黄に変色し」(1点)

○ 「顔の色が変わり・顔が変色し」などの意が読み取ればよい。

○ 「上品だった」の有無は不問。

D 「足も血の気が失せて」(1点)

○ 「足の血の気が失せて・足の色がなく、足が白く」などの意が読み取ればよい。

E 「見苦しく汚く、堪えがたい様子」(2点)

○ 見苦しい・醜い・気味が悪い・汚い・不快だ・堪えがたい」等の意が読み取ればよい。

F 「着物も臭く」(1点)

○ 「臭く」の意が読み取ればよい。

○ 「着物も」の有無は不問。

問七 4点×2＝8点

D 4点

(解答例)

A○1点 B○3点

毎日、化粧をしたり、着飾ったりすること。(20字)(4点)

■ 表記・字数

- ・字数指定 20字。字数が少ないことによる減点はしない。
- ・文末表現指定なし。模範解答に準ずる。
- ・句読点の有無不問。

「ポイント」

A「毎日」(1点)

- 「日々」などでもよい。

B「化粧をしたり、着飾ったりすること」(3点)

- ▲「化粧をする」・「着飾る」のどちらか一つしかない場合は▲減点1点。

G 4点

(解答例)

A○2点

×B○2点

死んで時間が経てば 醜くなるのは言うまでもない、ということ。(29字)(4点)

■ 表記・字数

- ・字数指定 30字。字数が少ないことによる減点はしない。
- ・文末表現指定なし。模範解答に準ずる。
- ・句読点の有無不問。

「ポイント」

A「死んで時間が経てば」(2点)

- ×「死んで」の意がない場合は×。
- ▲「時間が経つ」の意がない場合は、▲減点1点。
- 「息が止まる・体が冷える・夜を重ねる」の有無は不問。

B「醜くなるのは言うまでもない、ということ」(2点)

- 「醜くなるのは言うまでもない」の意があればよい。
- 「醜い」は「汚い・気味が悪い・不快だ・堪えがたい」などでもよい。
- 「～は言うまでもない」は、「いはんや～をや」の意が表れていれば「まして醜くなる」などでもよい。
- ▲この意がない場合は、▲減点1点。

問八 2点×2＝4点

(解答)

二・ \wedge

「ポイント」

※順不同可。

【四】 漢文 50点 ※難関と同じ設問でも基準・配点が違うものがあるので注意してください。

問一 2点×4＝8点

(解答) a すなわち

b じやうじやく

c おのおの

d ようやく

【採点のポイント】

▲歴史的仮名遣いの場合には、▲減点1点。

例 a 「すなはち」 d 「やうやく」

※送り仮名の不足は0点。

例 a 「すなわ」 b 「じやく」と「c」おの「 d 「ようやく」

問二 4点×2＝8点

1

A○1点

B○2点

C○1点

(解答例) 一度も かじ取りを 間違えたことが ない (ということ)。(4点)

【採点のポイント】

○主体「船頭は」および「かじ取りを」は不問。

○A「一度も」は「いままで(に)」「いまだかつて」など可。

4

A○3点

B1点

(解答例) ほんのわずかな時間で 到着した (ということ)。(4点)

【採点のポイント】

△Aは「一回の食事の時間で」「一回の食事の時間でないうちに」の場合△2点。

○Aは「ごく短い時間」「短時間」など可。

問三 3点×2＝6点

2

(解答例) 顔色を失った(3点)

「採点のポイント」

○「顔色が青ざめた」「顔が真っ青になった」「愕然とした」なども可○。

3

(解答例) 落ち着いたようすで(3点)

「採点のポイント」

○「落ち着きはらって」「ゆったりとして」「慌てることなく」「冷静な様子で」「取り乱したりせず」などで○。
○「〜て(で)」「はなくとも可○。

問四 3点

(解答) ハ (3点)

問五 3点

(解答) ホ (3点)

問六 4点×5＝20点

(解答) イ 2 ロ 2 ハ 1 ニ 1 ホ 1 (各4点)

問七 2点

(解答) 口 (2点)